

教育・学習支援 ～激動の一年を振り返って想うこと～

島田 敬士

九州大学 大学院システム情報科学研究所 教授

第30回 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革
に関するサイバーシンポジウム「教育機関DXシンポ」



変わったこと：データの量



教育システム（LMS, e-Book）に蓄積されたイベントログ（クリックストリーム）の量

2020年度は、過去の累積件数より多い

オンライン授業の過程・成果が眠っている

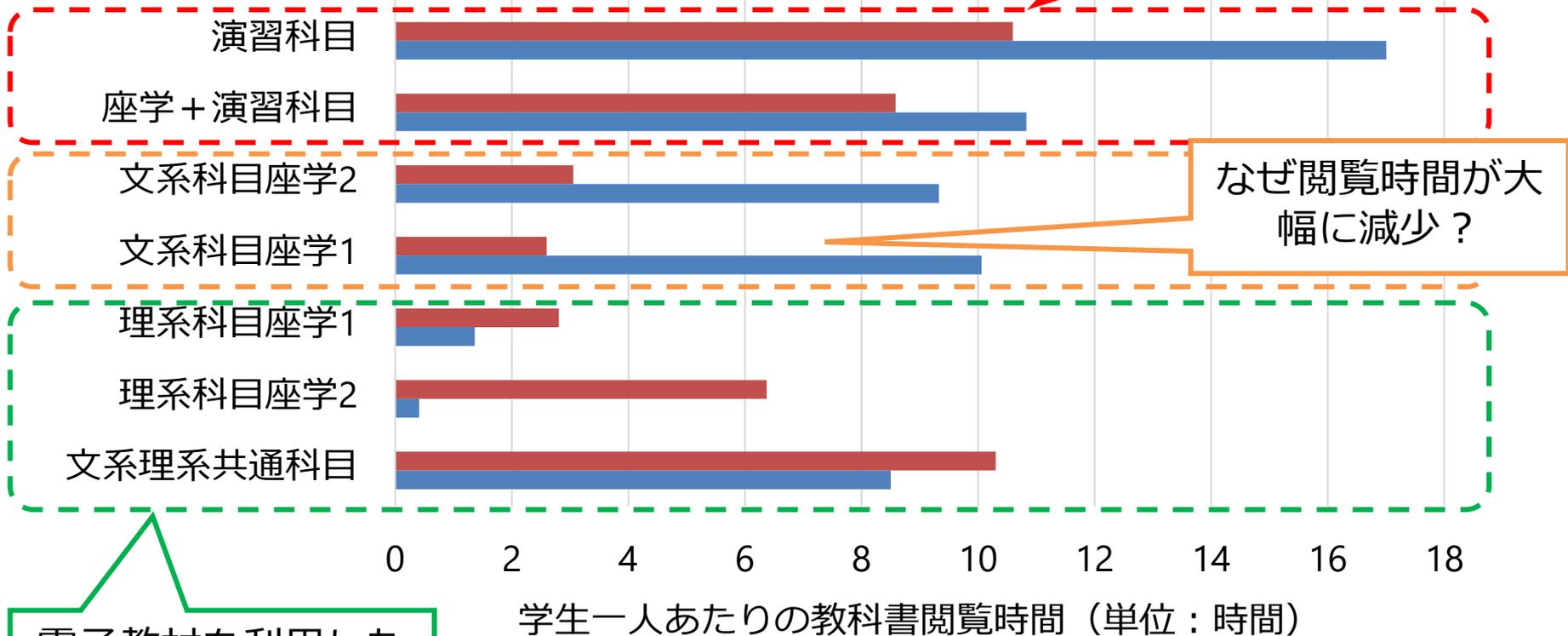
データ蓄積基盤も増強

ファイル群

比較：教科書の閲覧時間の例

オンライン 対面
■ 2020 ■ 2019

教材動画も併用した分、
閲覧時間は減少？



なぜ閲覧時間が大幅に減少？

電子教材を利用した
授業で閲覧時間増加

まだまだ分析できていないことが多い

変えたこと／変わったこと：学習支援体制

2019年度まで



電話・メール・窓口対応
職員が主に対応

2020年度途中から



一次対応：
チャットボット
学生組織による対応

二次対応：
教職員による対応



学生の参画，主体性育成

教職員の業務負担軽減

新しい試み



九大学務LINE

新入生からよくある
問い合わせの自動応答

- ・ 授業料免除
- ・ 入学金免除
- ・ 各種奨学金制度
- ・ 入寮手続きなど

新入生PCカスタマイズ作業支援

入学までに行う作業を
動画やLINE botで支援

動画再生回数約2万回
※2021年4月8日現在



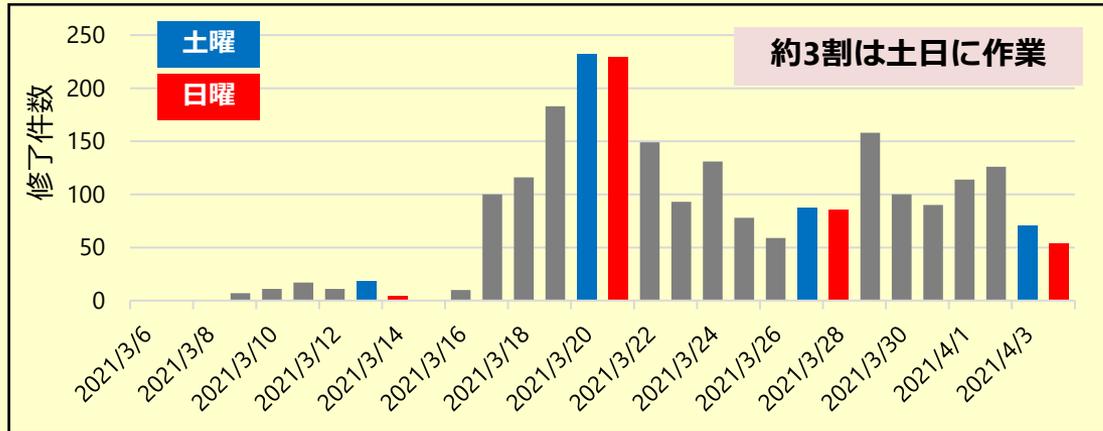
「例年よりも問
い合わせ件数が
減ったように感
じる」との職員
さんの声

結果的にDXに繋がった！？

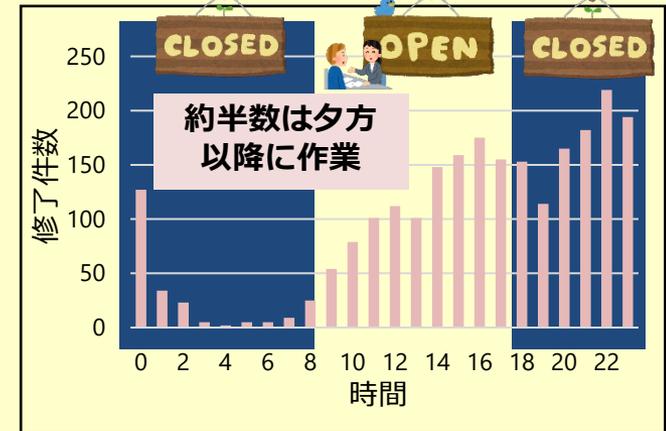
新入生PCカスタマイズ
作業支援の例

新入生の作業日時を分析

日ごとの作業状況

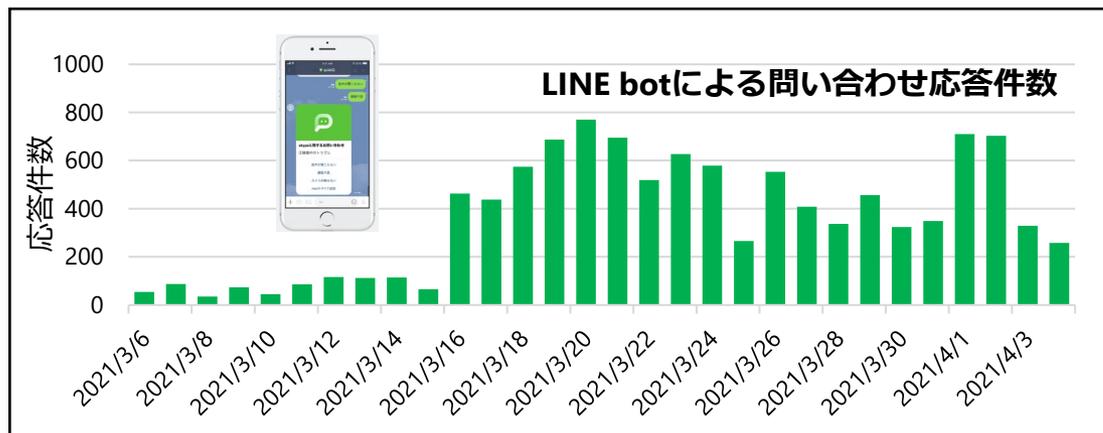


時間帯ごとの作業状況



昼夜、休日も自動対応

LINE botによる問い合わせ応答件数



単純計算で
約6割強の新入生は
窓口時間外に作業
していたことになり
時間外の質問対応の
大幅削減を達成

最後に：一年を振り返って（想うこと）

- 現場に近いところで動けてよかった
 - 現場の困難を直に知るきっかけ
 - 形骸化していた作業フローの見直し
- 学生主体組織との連携体制が築けてよかった
 - コロナ禍でなければ、いつになっていたのか．．．
 - 今や大学のDXについても一緒に考える良き仲間
- 学務系の組織の方々との協力体制が築けてよかった
 - 教育運営に近いの方々との議論は研究者にとって新鮮
 - 新しい観点で今後の教育データの活用策も見えてきた
- LAのキーワードが（徐々に）浸透してよかった
 - 一年前．．．LA？ロサンゼルス？ローカルアレンジ？．．．？？
 - 今．．．LA＝ラーニングアナリティクス，教育データの利活用

